

ハイブリッド量子系 における電磁界制御

量子制御が急速に発展するなかで、これまでの分野を超えたハイブリッド的な量子制御が注目されています。ハイブリッド化により、それぞれ物理系がもつ特徴、利点を引き出し、個別の物理系では達成することが難しい現象を可能にすることが期待されています。ハイブリッド量子科学の発展には異なる物理量の様々な材料での制御が重要となります。今回はフォトニック結晶、グラフェン、トポロジカル絶縁体といった多種多様な物質内部の自由度、特にスピンと関係するような磁気電気自由度とその制御について最新の話題を議論します。量子エレクトロニクス、半導体、絶縁体など異なる専門分野の研究者が議論する機会となりますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時

2017年9月6日（水）午後

場所

福岡国際会議場

第78回 応用物理学会 秋季学術 講演会

大分類3
光・フォトニクス
分科企画
シンポジウム

企画

新領域
量子情報研究
グループ

世話人

根本香絵(NII)
小坂英男(横国大)
仙場浩一(NICT)
藤原幹生(NICT)
廣川真男(広島大)
辻野賢治(TWMU)